

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-199685

(P2005-199685A)

(43) 公開日 平成17年7月28日(2005.7.28)

(51) Int.Cl.⁷

B 4 2 C 3/00

B 4 2 C 9/00

B 4 2 C 11/00

F I

B 4 2 C 3/00

B 4 2 C 9/00

B 4 2 C 11/00

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 21 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号 特願2004-121289 (P2004-121289)
 (22) 出願日 平成16年4月16日 (2004.4.16)
 (31) 優先権主張番号 実願2003-273158 (U2003-273158)
 (32) 優先日 平成15年12月16日 (2003.12.16)
 (33) 優先権主張国 日本国 (JP)

(71) 出願人 390030513
 株式会社小林
 東京都台東区鳥越2丁目10番4号
 (74) 代理人 100082739
 弁理士 成瀬 勝夫
 (74) 代理人 100087343
 弁理士 中村 智廣
 (74) 代理人 100108925
 弁理士 青谷 一雄
 (74) 代理人 100132230
 弁理士 佐々木 一也
 (72) 発明者 小林 利郎
 東京都台東区鳥越2丁目10番4号、株式
 会社小林内

最終頁に続く

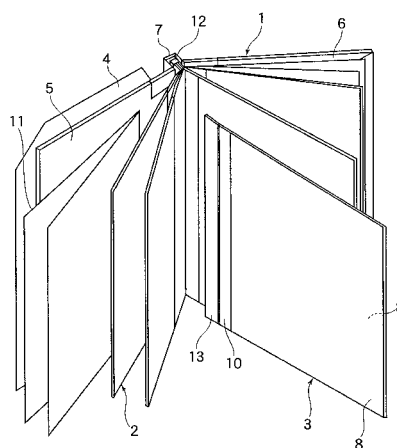
(54) 【発明の名称】 オリジナル本作製用の製本キット

(57) 【要約】

【課題】 個人が家庭で容易に、かつ、安価にオリジナル本を作製できる製本キットを提供する。

【解決手段】 表紙用プリント紙と、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と、複数枚の本文用プリント紙と、剥離紙で保護された接着面を有する複数の帯状の綴じテープとを有し、プリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材を所定の間隔をおいて貼着して表紙部材を形成し、プリント終了後の本文用プリント紙の2枚を互いに裏面が対向するように貼着すると共にこれら2枚の本文用プリント紙の喉部に沿って綴じテープを貼着して本文部材を形成し、複数の本文部材の各綴じテープ間を貼着して各本文部材が開閉可能に綴じ合わされた本文セットを形成し、互いに重合状態に貼着された綴じテープにより構成される本文セットの喉部を表紙部材に挟み込んで貼着して製本するオリジナル本作製用の製本キットである。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

表紙模様やタイトル等が描かれる表紙用プリント紙と、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と、写真や本文等が記録される複数枚の本文用プリント紙と、剥離紙で保護された接着面を有する複数の帯状の綴じテープとを有し、プリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材を所定の間隔をおいて貼着することにより表表紙部、背表紙部及び裏表紙部を備えた表紙部材を形成し、また、プリント終了後の本文用プリント紙の 2 枚を互いに裏面が対向するように貼着すると共にこれら 2 枚の本文用プリント紙の喉部に沿って綴じテープを貼着することにより本文部材を形成し、更に、上記によって形成した複数の本文部材の各綴じテープ間を貼着することにより各本文部材が開閉可能に綴じ合わされた本文セットを形成し、互いに重合状態に貼着された綴じテープにより構成される本文セットの喉部を表紙部材に挟み込んで貼着することにより製本することを特徴とするオリジナル本作製用の製本キット。

10

【請求項 2】

綴じテープが片面に接着面を有してこの綴じテープを 1 枚の本文用プリント紙の喉部に貼着し、この本文用プリント紙と別の 1 枚の本文用プリント紙とが表裏両面に接着面を有する両面接着テープを介して貼着されて本文部材を形成する請求項 1 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 3】

綴じテープが表裏両面に接着面を有してこの綴じテープを 2 枚の本文用プリント紙の喉部に貼着し、これら 2 枚の本文用プリント紙が表裏両面に接着面を有する両面接着テープを介して貼着されて本文部材を形成する請求項 1 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

20

【請求項 4】

表紙芯材が表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材に加えて背表紙用の表紙芯材を有し、プリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に表表紙用、背表紙用及び裏表紙用の各表紙芯材を互いに所定の間隔をおいて貼着することにより表紙部材を形成する請求項 1～3 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 5】

表紙部材における表表紙部及び／又は裏表紙部の表紙用プリント紙側の面には、カード状のものを貼着する収納凹部が設けられている請求項 1～4 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

30

【請求項 6】

窓枠形状をした窓枠材とシート材とを互いに貼着することにより表表紙用及び／又は裏表紙用の表紙芯材を形成し、この表紙芯材をプリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に貼着することにより収納凹部が形成される請求項 5 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 7】

窓枠材の内側窓部分に収容されて窓枠材の表面と同一の面を形成することができる収容材を備えている請求項 6 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

40

【請求項 8】

表紙芯材には剥離紙で保護された接着面が設けられており、この接着面を介してプリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に貼着される請求項 1～7 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 9】

表紙部材の表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着されると共に本文セット側に貼着される一対の見返し用紙を備えており、表紙部材と本文セットとの間がこれら一対の見返し用紙を介して貼着される請求項 1～8 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 10】

50

見返し用紙は、表表紙用及び裏表紙用の各表紙芯材側並びに本文セット側に貼着される部分に、剥離紙で保護された接着面を有する請求項 9 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 1 1】

表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着されると共に本文セット側の喉部に沿って貼着される帯状の背捲きテープを備えており、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と本文セットの喉部とがこの背捲きテープを介して連結される請求項 1 ～ 1 0 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 1 2】

表紙部材と本文セットとの間が一对の見返し用紙を介して貼着される場合であって、背捲きテープが、見返し用紙を介して本文セットの喉部に貼着されると共に表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着される請求項 1 1 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。 10

【請求項 1 3】

背捲きテープが、テープ本体の左右両縁に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙で保護された接着面をテープ本体の表裏両面に有する請求項 1 1 又は 1 2 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 1 4】

本文セットの喉部の天地部に貼着される一对の角布を備えており、本文セットの喉部の天地部が貼着されたこの角布により被覆され、保護される請求項 1 ～ 1 3 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。 20

【請求項 1 5】

角布は、その裏面全面に剥離紙で保護された接着面を有する請求項 1 4 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 1 6】

互いに重合状態に貼着されて本文セットの喉部を構成する各綴じテープ間に所定の間隔で介装されて貼着される複数の枕材を備えており、この枕材の使用により本文セットの喉部の厚さを調整する請求項 1 ～ 1 5 のいずれかに記載のオリジナル本作製用の製本キット。

【請求項 1 7】

枕材は、少なくともその片面側に剥離紙で保護された接着面を有する請求項 1 6 に記載のオリジナル本作製用の製本キット。 30

【請求項 1 8】

製本する際に用いる帯状の綴じテープであり、剥離紙で保護された接着面を表裏両面に有することを特徴とする製本用綴じテープ。

【請求項 1 9】

少なくとも一方の面の接着面が、テープ本体の左右両縁に沿って設けられている請求項 1 8 に記載の製本用綴じテープ。

【請求項 2 0】

製本する際に用いる表表紙用及び／又は裏表紙用の表紙芯材であり、窓枠形状をした窓枠材とこの窓枠材の内側窓部分に収容される収容材と窓枠材の外周寸法と同じ寸法を有したシート材とから形成されることを特徴とする製本用表紙芯材。 40

【請求項 2 1】

製本する際に用いる帯状の背捲きテープであり、テープ本体の左右両縁に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙で保護された接着面をテープ本体の表裏両面に有することを特徴とする製本用背捲きテープ。

【技術分野】

【0001】

この発明は、個々人が自己の趣味に応じて内容の異なるオリジナル本を容易に、かつ、安価に作製することができるオリジナル本作製用の製本キットに関する。

【背景技術】

【0002】

書籍や雑誌等の製本された印刷物は、通常、専門的な出版社においてその編集から製本まで一貫して行われており、編集作業では、題材の選定、原稿の起草や校正、写真や挿絵等の選定、原稿や写真、挿絵等の割付、版下の作成と印刷等の作業が行われ、また、製本作業では、印刷された本文等を糸、針金、接着剤等で綴じ、これに印刷された表紙、見返し、扉等を用いて体裁を整えることが行われている。 10

【0003】

ところで、今日、パソコンやプリンターの機能が格段に進歩し、また、デジタルビデオやデジタルカメラが出現して撮影した画像を容易にパソコンに取り込んで編集できるようになり、これまで専ら出版社で行われていた専門的な編集作業を個々人がパソコン上で容易に行うことができるようになり、実際に、旅行、結婚式、子育て、趣味（料理、生け花、園芸等）等の記録や絵本、小説等の創作を所定の形式や様式に編集し、ビデオ、フロッピー（登録商標）ディスク、CD-ROM、MO等の記録媒体に電子情報として記録しておくことが行われている。

【0004】

しかしながら、このような記録方式では、電子情報として記録媒体に記録した内容を見るためには、この電子情報を画像や音声に再現するための再生装置、例えばビデオデッキ、パソコン、デジタルカメラ等が不可欠であり、また、これらの再生装置はそのメーカーによって仕様が異なり、例えばあるメーカーのパソコンで作製された記録媒体は他のメーカーのパソコンでは再生できない場合がある等その汎用性に問題があり、更には、このような情報機器の分野での技術進歩は著しく、例えば仮に同じメーカーのパソコン間でも、特別な変換ソフトを用いたり、フォーマットを変えて新しい記録媒体に写し変えたりしない限り、古いパソコンで作製された記録媒体を新しいパソコンで再現することができないというような事態も生じている。 20

【0005】

このため、例えば旅行の際の写真や紀行文等をパソコン上で編集し、電子情報として記録媒体に記録しても、親しい友人や親戚に出向いて一緒に見ることができない場合があるほか、長い年月が経つと、もはや再生して見ることができなくなる場合も発生し、何時でも何処でも気軽に見られるように、記録本や創作本として小冊子にまとめ、製本しておくことが望まれている。 30

【0006】

しかしながら、従来の製本作業には複雑な工程と高度の技術が要求され、個々人が簡単に、かつ、安価に製本された印刷物を作製することは困難であるとされている。例えば、特開平11-208,145号公報には製本キット及びオリジナル本の作成方法が提案されているが、この製本キットでは、キット本体部2が半完成の状態のまま、絵本の完成を請け負う取扱店等に渡され、当該取扱店で最終的に完成させるとされており、部分的に専門家の援助を必要としている。 40

【0007】

本発明者は、先の特許出願において、本文等が記載された複数枚の本文用プリント紙の喉部に対して、長さ方向に沿って略平行に貼着された一対の剥離紙で保護された接着面を有する帯状の綴じテープをそれぞれ貼着し、これら各綴じテープ間を貼着することで、各本文用プリント紙が開閉可能となるように綴じ合わせることができる製本キットを提案している（特開2002-166,679号公報）。この製本キットによれば、個々人が家庭で容易に、かつ、安価にオリジナル本を作製することができる。しかしながら、この製本キットでは、例えば市中の写真プリント等のように片面に写真や本文等が記録される本文用プリント 50

紙を綴じるには不向きである。

【特許文献1】特開平11-208,145号公報

【特許文献2】特開2002-166,679号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

そこで、本発明者は、例えば市中の写真プリント等のように片面に写真や本文等が記録される本文用プリント紙を開閉可能に綴じ合わせるのに好適であると共に、個々人が家庭で容易に、かつ、安価に製本することができる製本キットについて鋭意検討した結果、剥離紙で保護された接着面を有する帯状の綴じテープを用いて2枚の本文用プリント紙からなる本文部材を複数形成し、いわゆる足継ぎ製本の技術を応用して、これら本文部材の各綴じテープ間を貼着することにより、製本作業の中で難しい作業とされている本文セットの作成を容易にできるようにし、これによって特別な装置や熟練した技術を要することなく容易に、かつ、安価に製本することができることを見出し、本発明を完成した。

10

【0009】

従って、本発明の目的は、市中の写真プリント等のように片面に写真や本文等が記録される複数の本文用プリント紙を、個々人が家庭で容易に、かつ、安価にオリジナル本に仕上げることができるオリジナル本作製の製本キットを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0010】

20

すなわち、本発明は、表紙模様やタイトル等が描かれる表紙用プリント紙と、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と、写真や本文等が記録される複数枚の本文用プリント紙と、剥離紙で保護された接着面を有する複数の帯状の綴じテープとを有し、プリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材を所定の間隔をおいて貼着することにより表表紙部、背表紙部及び裏表紙部を備えた表紙部材を形成し、また、プリント終了後の本文用プリント紙の2枚を互いに裏面が対向するように貼着すると共にこれら2枚の本文用プリント紙の喉部に沿って綴じテープを貼着することにより本文部材を形成し、更に、上記によって形成した複数の本文部材の各綴じテープ間を貼着することにより各本文部材が開閉可能に綴じ合わされた本文セットを形成し、互いに重合状態に貼着された綴じテープにより構成される本文セットの喉部を表紙部材に挟み込んで貼着することにより製本することを特徴とするオリジナル本作製の製本キットである。

30

【0011】

また、本発明は、製本する際に用いる帯状の綴じテープであり、剥離紙で保護された接着面を表裏両面に有することを特徴とする製本用綴じテープである。

更に、本発明は、製本する際に用いる表表紙用及び／又は裏表紙用の表紙芯材であり、窓枠形状をした窓枠材とこの窓枠材の内側窓部分に収容される収容材と窓枠材の外周寸法と同じ寸法を有したシート材とから形成されることを特徴とする製本用表紙芯材である。

更にまた、本発明は、製本する際に用いる帯状の背捲きテープであり、テープ本体の左右両縁に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙で保護された接着面をテープ本体の表裏両面に有することを特徴とする製本用背捲きテープである。

40

【0012】

本発明において、表紙模様やタイトル等が描かれる表紙用プリント紙としては、通常の実家庭用プリンターで文字や画像を印刷できるものであるのがよく、通常の実紙製のプリント紙や和紙であっても、また、合成樹脂製のフィルムからなる特殊なプリント紙であってもよいが、好ましくは表面にインクジェットコート、レーザプリント適性、及び昇華型プリント適性等が施されたプリント紙がよく、特に強靱で耐水性や耐磨耗性に優れたインクジェット専用紙（片面）やインクジェット合成紙（片面）等の専用特殊用紙であるのがよい。この表紙用プリント紙としては、その表表紙の部分、背表紙の部分及び裏表紙の部分を含む1枚のプリント紙で構成されていてもよいが、使用するプリンターの印刷可能なサイズが比較的小さい場合には、例えば、表表紙用、背表紙用、裏表紙用等のように複数枚に

50

分割されていてもよい。

【0013】

表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材についても、比較的厚みがあって剛性に優れているものであれば特に制限はなく、例えば紙製のボール紙や合成樹脂製のシート等を挙げることができる。また、本発明においては、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材に加えて背表紙用の表紙用芯材を有してもよい。そして、このような背表紙用の表紙芯材については、表紙部材に挟み込んで貼着する本文セットの厚みに応じて幅寸法の異なる複数の背表紙用の表紙芯材を用意しておいてもよい。

【0014】

更に、写真や本文等が記録される本文用プリント紙としては、通常の家計用プリンターで文字や画像を印刷できるものや、市中の写真プリントショップ等において片面に写真や本文等を記録することができるものであればよく、特に制限されるものではないが、例えば上述した市中の写真プリント用の専用紙や、通常の家計用プリンターで文字や画像を印刷できるインクジェット専用紙、同じく通常の家計用プリンターで文字等を1枚で2頁分が見開きに印刷されて2頁目裏面と3頁目裏面、4頁目裏面と5頁目裏面、……と貼り合わせる粘葉製本に適したインクジェット専用紙等の高品位専用紙が望ましい。また、本発明においては、予め写真や文字等が記録された写真、写真プリント、絵葉書、個人が画用紙等に描いた絵等を本文用プリントして用いることもできる。

尚、本発明における本文用プリント紙は、2枚の本文用プリント紙の裏面を対向するように貼着するものであるが、貼着する裏面に写真や本文等が記録されるもの（両面に記録されるもの）を排除するものではない。

【0015】

更に、帯状の綴じテープは、プリント終了後の各本文用プリント紙を綴じ合わせるために用いられるものであり、そのテープ本体の幅寸法が通常10～40mm、好ましくは15～35mm程度であり、剥離紙で保護された接着面を有する。そして、この綴じテープに設けられる接着面については、テープ本体の片面のみに設けられていても、また、表裏両面に設けられていてもよく、更に、テープ本体の片面又は両面の全面に設けられていても、また、本文用プリント紙の喉部に貼着する部分と綴じテープ同士を互いに重合状態に貼着する部分とが区別されるように片面又は両面の左右両縁に沿って互いに所定の間隔をおいて2条又は4条の接着面に分割されていてもよい。例えば綴じテープが片面に接着面を有する場合であって、この接着面がテープ本体の左右両縁に沿って互いに所定の間隔をおいて2条に分割されていると、一方の縁の接着面には本文用プリント紙の喉部が貼着され、他方の縁の接着面は他の綴じテープと貼着されるようにしてもよい。また、例えば綴じテープが表裏両面に接着面を有する場合であって、片方の面の接着面がテープ本体の左右両縁に沿って互いに所定の間隔をおいて2条に分割されていると共に、もう一方の面の接着面が片側の縁に沿って設けられていると、テープ本体の片側一方の縁で表裏両面に設けられた接着面には2枚の本文用プリント紙の喉部が貼着され、残りの片側一方の縁に設けられた接着面は他の綴じテープと貼着されるようにしてもよい。この綴じテープにどのような接着面を設けるかは、本文セットが完成した際に、互いに重合状態に貼着された綴じテープにより構成される本文セットの喉部をどのように形成するかによって決定され、例えば、本文セットの喉部と本文部分との間に各綴じテープの一部を露出させて容易に折り曲げ可能な部分を形成するためには、接着面をテープ本体の片面の左右両縁に沿って互いに所定の間隔をおいて設けるのがよい。

【0016】

更に、この綴じテープに設けられる接着面については、長さ方向に沿って貼着された剥離紙で保護されているのがよく、好ましくは長さ方向に沿って略並行に貼着された一对の剥離紙で保護されているのがよい。一对の剥離紙で保護されることによって、製本作業において必要な接着面のみを露出させることができるため、他の部材との誤った貼着等を防止できて、作業を簡単、かつ、確実に進めることができる。このような一对の剥離紙は片面のみに設けられた接着面を保護してもよく、表裏両面に設けられた接着面のいずれか一

方又は両方を保護するようにしてもよい。

【0017】

また、本発明においては、表紙部材の表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着されると共に本文セット側、好ましくは本文セットの喉部に貼着される一対の見返し用紙を用意し、この一対の見返し用紙を介して、表紙部材と本文セットとの間を互いに貼着するようにしてもよく、これによって表表紙及び裏表紙の内面側を綺麗に仕上げる事ができるほか、表紙部材と本文セットとの間の貼着作業をより容易に、かつ、確実に行うことができる。この見返し用紙についても、特に紙製に限らず、強靱で耐水性や耐磨耗性に優れた合成樹脂製のフィルムや合成紙等も使用できる。

【0018】

また、本発明においては、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着されると共に本文セット側の喉部に沿って貼着される帯状の背捲きテープを用意し、この背捲きテープを介して、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と本文セットの喉部とが連結されるようにしてもよい。また、先に説明したように、表紙部材と本文セットとの間が一対の見返し用紙を介して貼着される場合には、この背捲きテープが、見返し用紙を介して本文セットの喉部に貼着されると共に表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着されるようにするのが好ましい。

この背捲きテープについては、テープ本体の左右両縁に沿って略平行に貼着された一対の剥離紙で保護された接着面をテープ本体の表裏両面に有するのがよく、また、テープ本体に設けられる接着面については、テープ本体の全面に設けられてもよく、好ましくは、互いに所定の間隔をおいて2条又は4条の接着面に分割されているのがよい。更に、この背捲きテープの長さについては、好ましくは、貼着される本文セットの喉部における長さ方向の寸法と略同じであるのがよい。

【0019】

上記のように背捲きテープを本文セットの喉部分に貼着することにより、綴じテープにより互いに重合状態に貼着された本文セットの喉部におけるふくらみを防止できる。特に、表紙部材と本文セットとの間が一対の見返し用紙を介して貼着される場合に、上記のように本文セットの喉部に一対の見返し用紙が貼着された状態で本文セットの喉部を覆うように背捲きテープを貼着することで、本文セットの喉部が膨張して外側に向かって広がる力が生じてても、互いに貼着された表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材と一対の見返し用紙と本文セットとの間で生じる層間剥離をそれぞれ防止することができ、製本をより強固にすることができる。

【0020】

更に、本発明においては、本文セットの喉部の天地部に貼着される一対の角布を用意し、この角布を本文セットの喉部の天地部に貼着するようにしてもよく、これによってこの天地部を被覆し保護することができるほか、綴じテープを重ね合わせて形成された本文セットの喉部が外部から見えなくなり、それだけ製本を綺麗に仕上げる事ができ、また、本の天地をしっかりと結束することによってより製本を強固にすることができる。

【0021】

更にまた、本発明においては、互いに重合状態に貼着されて本文セットの喉部を構成する各綴じテープ間に所定の間隔で介装されて貼着される複数の枕材を用意し、この枕材の使用により本文セットの喉部の厚さを調整できるようにしてもよく、これによって足継ぎ製本において本文セットの喉部の厚さが本文部分の厚さよりも薄くなったような場合に、この本文セットの喉部の厚さを調整して美麗に製本することができる。この枕材についても、上記表紙芯材と同様に、比較的厚みがあって剛性に優れているものであれば特に制限はなく、例えば紙製のボール紙や合成樹脂製のシート等を使用することができる。

【0022】

本発明において、表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の各表紙芯材は表紙用プリント紙に、また、必要により用意される一対の見返し用紙は表表紙用及び裏表紙用の各表紙芯材側並びに本文セット側に、一対の角布は本文セットの喉部の天地部に、更に、複数の枕材

10

20

30

40

50

は所定の綴じテープ間にそれぞれ貼着される。そして、これらの間を貼着する接着剤については、その製本作業の際に互いに接着される部分に塗布してもよいが、好ましくは、これら各表紙芯材、各見返し用紙、各角布、及び各枕材の接着部分、より好ましくは必要な接着部分に予め接着剤が塗布された接着面を設け、この接着面を剥離紙で保護しておくのが望ましい。このように各表紙芯材、各見返し用紙、各角布、及び各枕材に剥離紙で保護された接着面を設けておくことにより、接着部分に必要以上に多量の接着剤が付着したり、接着部分以外の不必要な部分に接着剤が付着して汚れの原因になることがなく、製本作業を容易にかつ確実に行うことができる。

【0023】

例えば、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材については、その表面側には内側縁に沿って1条又は2条の接着面を、また、外側縁に沿って1条の接着面をそれぞれ形成すると共に、その裏面側には上縁、下縁、及び外側縁に沿ってそれぞれ接着面を形成し、また、背表紙用の表紙芯材については、その表面側全面と裏面側上部及び下部にそれぞれ接着面を形成し、これら各表紙芯材の表面側で表紙用プリント紙と貼着すると共に、この表紙用プリント紙の周縁を各表紙芯材の裏面側に折り返して貼着できるようにする。

【0024】

また、各見返し用紙については、表紙部材の表表紙用又は裏表紙用の表紙芯材の内面側に貼着される部分において、例えば、その全面に接着面を設けてもよいが、その周縁部のみに接着面を設けてもよく、あるいは、その内側縁、中央部分、及び外側縁にそれぞれ接着面を設ける等してもよく、また、その本文セット側に貼着される部分については、例えば、この本文セットの喉部に対応する部分に接着面を設けてもよく、また、本文用プリント紙が形成する本文セットの外側面に対応する部分に、表紙芯材の内面側に対応する部分と同様に、適当な接着面を設けてもよい。

【0025】

また、本発明において、プリント終了後の本文用プリント紙の2枚を互いに裏面が対向するように貼着すると共にこれら2枚の本文用プリント紙の喉部に沿って綴じテープを貼着することにより本文部材を形成する際、これら2枚の本文用プリント紙の間に接着剤を塗布して貼着してもよいが、好ましくは、表裏両面に接着面を有した帯状の両面接着テープを介して貼着するのが望ましい。このように両面接着テープを使用することで、通常の家用品用プリンターで印刷した本文用プリント紙や写真プリントのような本文用プリント紙を、接着部分に必要以上に多量の接着剤が付着したり、接着部分以外の不必要な部分に接着剤が付着して汚れの原因になることがなく、容易にかつ確実に貼着することができる。

【0026】

本発明における綴じテープが片面に接着面を有する場合には、好ましくはこの綴じテープを1枚の本文用プリント紙の喉部に貼着し、この本文用プリント紙と別の1枚の本文用プリント紙とが表裏両面に接着面を有する両面接着テープを介して貼着されて本文部材を形成するのがよい。この際、上記両面接着テープは本文用プリント紙の小口側、中央付近及び喉側の各部分に貼着されるようにするのが更に好ましい。

また、本発明における綴じテープが表裏両面に接着面を有する場合には、好ましくはこの綴じテープを2枚の本文用プリント紙の喉部に貼着し、これら2枚の本文用プリント紙が表裏両面に接着面を有する両面接着テープを介して貼着されて本文部材を形成するのがよい。この際、上記両面接着テープは本文用プリント紙の小口側及び中央付近の各部分に貼着されるようにするのが更に好ましい。

【0027】

また、本発明においては、表紙部材における表表紙部及び／又は裏表紙部の表紙用プリント紙側の面に、カード状のものを貼着する収納凹部を設けるようにしてもよい。作製するオリジナル本に関連する写真や絵葉書等のようなカード状のものを任意に選択してこの収納凹部に貼着することで、本としての仕上がりをより美麗にすることができ、また、この収納凹部に本のタイトル等になるようなものを貼着して本の仕上がりを美麗にすることができる。そして、表紙部材に収納凹部を形成するためには、例えば窓枠形状をした窓枠

材とシート材とを互いに貼着することにより表紙用及び／又は裏紙用の表紙芯材を形成し、この表紙芯材をプリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に貼着することにより、窓枠材の内側に位置する窓部分の形状を利用して上記表紙部材における表紙用プリント紙側の面に収納凹部を形成するのが望ましい。

【0028】

また、表紙芯材を窓枠材とシート材とを貼着することにより形成する場合には、上記窓枠材の内側窓部分に收容されて窓枠材の表面と同一の面を形成することができる收容材を備えておくのがよい。カード状のものを表紙部材に貼着せず、収納凹部を形成する必要がない場合、この收容材を用いて、窓枠材の内側窓部分に收容材を收容した状態でシート材と互いに貼着して表紙芯材を形成することで、この表紙芯材をプリント終了後の表紙用プリント紙の裏面に貼着しても収納凹部が形成されることなく、表紙用プリント紙側の面を平坦に仕上げることができる。このように收容材を予め備えておくことで、オリジナル本の作製者は、表紙部材に収納凹部を形成するかいなかを任意に選択することができる。

10

【0029】

本発明における窓枠材、收容材、及びシート材については、それぞれ、剛性に優れているものであれば特に制限はなく、例えば紙製のボール紙や合成樹脂製のシート等から形成してもよい。窓枠材とシート材との間を貼着する接着剤については、その製本作業の際に互いに接着される部分に塗布してもよいが、上記で説明した他の接着面の場合と同様の理由から、好ましくは必要な部分に予め接着剤が塗布された接着面を設け、この接着面を剥離紙で保護しておくのが望ましい。また、窓枠材に收容される收容材については、窓枠材とシート材とを互いに貼着してから窓枠材の内側窓部分に貼着するようにしてもよいが、予め窓枠材の内側窓部分の一部とつなぎを残した状態で窓枠材と一体に形成しておいてもよい。

20

【発明の効果】

【0030】

本発明によれば、個々人が自己の趣味に応じて内容の異なるオリジナル本を容易に、かつ、安価に、しかも美しい仕上がりでオリジナル本を作製することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0031】

以下、添付図面に示す実施例に基づいて、本発明の好適な実施の形態を具体的に説明する。

30

【実施例1】

【0032】

図1に本発明の実施例1に係る足継ぎ製本用の製本キットにより作製されたオリジナル本の一部分解斜視説明図が示されており、図2にその各部品一式が示されている。

【0033】

この実施例1の製本キットは、強靱で耐水性や耐磨耗性に優れたインクジェット専用合成紙（片面）からなり、表紙用、背表紙用、裏表紙用、及び予備を含めて4枚の表紙用プリント紙4と、比較的厚みのあるボール紙で形成された表紙用及び裏表紙用の一对の表紙芯材5、6、並びに背表紙用の幅寸法の小さい1本（図2においては外面側と内面側とをそれぞれ別個に示している）の表紙芯材7と、通常 of 家庭用プリンターで片面に文字や画像を印刷できるインクジェット専用紙からなり、1枚に1頁分が印刷され、写真や本文等の頁数に応じて用意される複数枚（図2においては10枚）の本文用プリント紙8と、剥離紙9bで保護された接着面9aを表裏両面に有して、上記本文用プリント紙8の2枚を互いに裏面が対向するように貼着する際に用いる複数枚（図2においては10枚）の両面接着テープ9と、この本文用プリント紙8の高さ方向と同じ長さを有し、一方の面にはその長さ方向に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙10b, 10cで保護された一对の接着面10aを有すると共にもう一方の面には片側の縁に沿って長さ方向に貼着された剥離紙10dで保護された接着面10aを有し、かつ、本文用プリント紙8の枚数の半分と等しい帯状の綴じテープ10と（図2においては表面及び裏面とをそれぞれ別個に示している）、二つ折り

40

50

された丈夫な模様紙で形成され、上記表紙用プリント紙4と表紙芯材5、6、7とで形成される表紙部材1と上記2枚の本文用プリント紙8と綴じテープ10とからなる本文部材3によって形成される本文セット2との間を連結する一対の見返し用紙11と、上記本文セット2の喉部の天地部に貼着される一対の角布12と、比較的厚みのあるボール紙で形成され、本文セット2の喉部の厚さを調整する適宜枚数（図2においては3枚）の枕材13とで構成されている。

【0034】

この実施例1において、上記表紙用及び裏表紙用の表紙芯材5、6、背表紙用の表紙芯材7、一対の見返し用紙11、一対の角布12、及び3枚の枕材13には、それぞれその接着部分に予め接着剤が塗布された接着面5a,6a,7a,11a,12a,13aが設けられており、これらの接着面5a,6a,7a,11a,12a,13aにはそれぞれ剥離紙5b,6b,7b,11b,12b,13bが貼着されて各接着面5a,6a,7a,11a,12a,13aを保護している。

10

【0035】

すなわち、この実施例1において、表紙用及び裏表紙用の表紙芯材5、6は、互いに同じ大きさに形成されていると共に、製本された際にその外面側（表紙側）となる面には内側縁に沿って互いに所定の間隔を置いて2条の剥離紙5b,6bで保護された接着面5a,6aが設けられていると共に外側縁に沿って1条の剥離紙5b,6bで保護された接着面5a,6aが設けられており、内側縁側一方（内側縁外側寄り）の接着面5aには背表紙用プリント紙4が貼着され、内側縁側他方（内側縁側中央寄り）及び外側縁側の接着面5a,6aには表紙用プリント紙4が貼着されるようになっており、更に、製本された際にその内面側（見返し側）となる面にはその上縁、下縁及び外側縁に沿ってそれぞれ剥離紙5b,6bで保護された接着面5a,6aが設けられており、ここには見返し用紙11が貼着されるようになっている。そして、これらの表紙用及び裏表紙用の表紙芯材5、6は、左綴じ製本にするかあるいは右綴じ製本にするかにより、上下を逆さにして用いられる。

20

【0036】

また、背表紙用の表紙芯材7には、その外面側全面に剥離紙7bで保護された接着面7aが設けられていると共に、その内面側には上部及び下部にそれぞれ剥離紙7bで保護された接着面7aが設けられている。更に、この実施例1において、上記各見返し用紙11には、表紙部材1の表紙用又は裏表紙用の表紙芯材5、6の内面側に貼着される部分に、その内側縁、中央部分、及び外側縁にそれぞれ接着面11aを設けると共に、その本文セット2側については、この本文セット2の喉部に対応する部分に接着面11aが設けられている。

30

【0037】

従って、この実施例1の製本キットを用いて例えば「旅行記」等を編集し、製本するためには、先ず全体のストーリーを決定して各頁に盛り込む文章や写真等の内容を構想し、次に、例えば図3に示すような台割シート14を用いて頁割付を行い、図4に示すようにこの頁割付に従って「旅行記」等の内容をプリンター15により各本文用プリント紙8に印刷する。

【0038】

そして、このようにして印刷が終了した後、図5の(1)に示すように、先ず、綴じテープ10のうち、一対の剥離紙10b,10cで保護された一対の接着面10aから一方の剥離紙10bを剥がして露出した接着面10aを本文用プリント紙8の喉部に貼り付ける。一方、図5の(2)に示したように、片面の剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出した両面接着テープ9を、上記の本文用プリント紙8の裏面側の頁に配置される別の本文用プリント紙8の裏面（印刷がされていない面）の小口側に沿って貼着すると共に、同様にもう一枚の両面接着テープ9をこの本文用プリント紙8の裏面中央付近に貼着する。次に、図5の(3)に示したように、両面接着テープ9を貼着した本文用プリント紙8のうち、小口側に貼られた両面接着テープ9の剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出させ、この接着面9aに対し、先に喉部に綴じテープ10を貼り付けた本文用プリント紙8の小口側を揃えて貼着する。更に、裏面中央付近に貼着された両面接着テープ9についても剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出させ、2枚の本文用プリント紙8を中央付近において互いに貼着する。次に、図5

40

50

の(4)に示したように、綴じテープ10が貼着されている本文用プリント紙8の裏面側にあたる綴じテープ10の剥離紙10dを剥がし、露出した接着面10aに対して残りの本文用プリント紙8の喉部を貼着する。このようにして、本文部材3のひとつを形成する。

【0039】

更に、図6に示したように、例えば上記で形成した本文部材3の1セット目、3セット目、及び5セット目の各本文部材3にはその喉部に貼着された綴じテープ10の剥離紙10cを剥がして枕材13の接着面13aとは反対側の面を貼着し、本文セット2を形成した際にその本文部分の厚さと綴じテープ10が互いに重合状態に貼着されて形成される本文セット2の喉部の厚さとがバランスとれるように調整され、その後に残された綴じテープ10の剥離紙10c及び枕材13の剥離紙13bを剥がし、全体の本文部分がずれないように各本文部材3を重ね合わせて接着面10a,13a,10a,13aにより各綴じテープ10及び各枕材13の間を貼着し、本文セット2を完成させる。

【0040】

完成した本文セット2には、図7に示すように、次にその喉部の天地部にそれぞれ角布12を貼着し、この角布12により製本が完成した際に本文セット2の喉部の天地部に生じた不揃いや、この天地部に枕材13が露出するのを目隠しする。このようにして本文セット2の喉部の天地部にそれぞれ角布12を貼着した後、この本文セット2には、図8に示すように、その喉部の前面側及び後面側にそれぞれ見返し用紙11を貼着する。この際、本文セット2の喉部とこの本文セット2の喉部に対応する見返し用紙11の本文セット2側の接着面11aとの間を強く圧着し、十分に強固に貼着する。

【0041】

本文セット2側が完成した後、次に表紙部材1の作製をする。まず、プリンター15を用い、図4に示すように、表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の各表紙用プリント紙4にそれぞれ対応する模様、図柄、タイトル、著者名等を印刷し、図9に示すように、それぞれ所定のサイズに切断し、表表紙用プリント紙4a、背表紙用プリント紙4c、及び裏表紙用プリント紙4bを作製する。

【0042】

次に、図10に示すように、このようにして作製された各表表紙用プリント紙4a、背表紙用プリント紙4c、及び裏表紙用プリント紙4bの内面側には、それぞれ表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の各表紙芯材5、7及び6をその外面側に設けられた接着面5a、7a、及び6aにより貼着し、これら各表紙芯材5、7及び6が貼着された表表紙用プリント紙4a、背表紙用プリント紙4c、及び裏表紙用プリント紙4bを、左綴じ製本の場合には左から表表紙用プリント紙4a、背表紙用プリント紙4c、及び裏表紙用プリント紙4bの順に（右綴じ製本の場合には左から裏表紙用プリント紙4b、背表紙用プリント紙4c、及び表表紙用プリント紙4aの順に）それぞれ配置し、図11に示すように、表表紙用プリント紙4a、及び裏表紙用プリント紙4bのコーナー部を切除した後、これら各表表紙用プリント紙4a、及び裏表紙用プリント紙4bの上縁部、下縁部、及び外側縁部をそれぞれ折り返し、表表紙用、及び裏表紙用の各表紙芯材5、6の内面側（見返し側）に設けられた接着面5a、6aに貼着し、また、背表紙用プリント紙4cの上縁部及び下縁部をそれぞれ折り返し、表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の各表紙芯材5、7及び6の内面側に設けられた接着面5a、7a、及び6aにより貼着し、表紙部材1を完成する。

【0043】

このようにして表紙部材1が完成した後、図12に示すように、この表紙部材1の内面側の所定位置に見返し用紙11が貼着された本文セット2を配置し、表表紙用プリント紙4a及び裏表紙用プリント紙4bの各表紙芯材5、6の内面側（見返し側）と各見返し用紙11との間を、この見返し用紙11に設けられた接着面11aにより貼着し、図13に示すように、製本が完成する。

【0044】

従って、この実施例1の製本キットによれば、本文用プリント紙8に「旅行記」等の内容を印刷し、また、表紙用プリント紙4に表紙模様やタイトル等を印刷する際に必要なプ

10

20

30

40

50

リントー15と、印刷された表紙用プリント紙4を所定のサイズに切断して表紙用プリント紙4a、背表紙用プリント紙4c、及び裏表紙用プリント紙4bを作製する際にカッターあるいはハサミとを必要とし、更に、所望により定規や紙バサミを必要とするだけで、扱い難いチューブ入り接着剤等を使用することなく、更には、水溶性糊を使用して貼着することによる表紙等のそりを生じることなく、容易に、かつ、安価に、しかも美麗に製本してオリジナル本を作製することができる。

【実施例2】

【0045】

図14には、実施例1における表紙部材1の変形例を形成する表紙用の表紙芯材16を作成する状態を示す斜視説明図を示している。この表紙芯材16は、紙製のボール紙からなる窓枠材17と、同じく紙製のボール紙からなるシート材18とを互いに貼着して形成される。この窓枠材17には、後に抜き取って窓枠材17の中央に窓状の空間を形成せしめる収容材19が収容されており、この収容材19は4つの角部においてのみ、窓枠材17とつながっている。更に、窓枠材17にはそれぞれの縁に沿って剥離紙17bで保護された接着面17aが設けられており、背表紙側の縁のみ2条の剥離紙17bで保護された接着面17aが設けられている。一方、シート材18には、背表紙側の縁にそって剥離紙18bで保護された接着面18aが設けられており、製本された際にその内面側（見返し側）となる面については実施例1の場合と同様である。そして、窓枠材17とシート材18とを貼着することで表紙用の表紙芯材16を形成することができる。また、この表紙用の表紙芯材16と全く同じ構成及び形状からなる裏表紙用の表紙芯材20についても用意しておく。

【0046】

上記表紙用の表紙芯材16については、シート材18に予め設けられた剥離紙18bを剥がし、露出した接着面18aに対して互いに背表紙側の縁が揃うように窓枠材17を貼着することにより形成し、同様にして裏表紙用の表紙芯材20についても形成するが、この際、表紙用の表紙芯材16については、窓枠材17とシート材18とを互いに貼着する際に予め窓枠材17から収容材19を抜き取っておくことで、窓枠材17とシート材18とを貼着して表紙用の表紙芯材16の中央付近に凹部16aを形成する。尚、この凹部16aについては、表紙部材1が出来上がった際に貼着する写真等の大きさに合わせておくのがよく、例えば抜き取った収容材19の一部をカットして凹部16aに埋め込んで調整してもよい。

そして、図15の(1)に示したように、上記各表紙芯材のそれぞれの背表紙側に設けられた外側の剥離紙17bを剥がして、この表紙用の表紙芯材16と裏表紙用の表紙芯材20との間が所定の間隔を有するようにして、実施例1と同じ材質からなる背表紙用プリント紙21cに貼着する。尚、実施例1と同様に、これらの表紙用及び裏表紙用の表紙芯材16、20は、左綴じ製本にするかあるいは右綴じ製本にするかにより、上下を逆さにして用いられる。

【0047】

また、図15の(2)に示したように、上記表紙用の表紙芯材16に形成された凹部16aには、実施例1と同様に剥離紙22bで保護された接着面22aを両面に有する両面接着テープ22を上下及び中央付近に貼着しておき、次いで、表紙用の表紙芯材16の背表紙側に残った剥離紙17bを剥がし、実施例1と同様の表紙用プリント紙21aを先に貼着した背表紙用プリント紙21c側に揃えて貼着する。また、凹部16aに貼着した両面接着テープ22の剥離紙22bを剥がして接着面22aを露出させ、上記表紙用プリント紙21aが凹部16aの底面及び側面と密着するように貼着する。この際、凹部16aと表紙用プリント紙21aとがしっかりと接合するように表紙用プリント紙21aの上から凹部16aの形状にあわせて十分押し当てるようにする。更に、窓枠材17に備えられた残りの剥離紙17bを剥がし、露出した接着面17aに対して表紙用プリント紙21aを貼着する。この際、表紙用プリント紙21aのコーナー部の処理や、表紙用の表紙芯材16の内面側（見返し側）に対する処理等については実施例1と同様に行う。一方、裏表紙用の表紙芯材20についても、剥離紙17bを剥がして露出した接着面17aに対して図示外の裏表紙用プリント用紙を貼着すると共に、この裏表紙用プリント紙についても実施例1と同様に処理する。

【0048】

このようにして形成した表紙部材1の表表紙側には、図15の(3)に示したように、収納凹部23が形成される。そして、この収納凹部23に両面接着テープ22をその四周に沿って貼着し、製本する本文等の内容にあわせて選んだ写真24をこの両面接着テープ22を介して収納凹部23に貼着することにより、実施例2に係る表紙部材1が完成する。この表紙部材1は、実施例1と同様にして、見返し用紙が貼着された本文セット2を貼着して、製本が完成する。

【実施例3】

【0049】

図16は、実施例1の変形例であって、表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材5、6と本文セット2の喉部とが1本の帯状の背捲きテープ25を介して連結される状態を示す断面説明図である。 10

この実施例3における本文セット2は、実施例1と同様にして完成した本文セット2に対し、実施例1と同様に、その喉部の天地部にそれぞれ角布12を貼着すると共に、この本文セット2の喉部の前面側及び後面側には、それぞれ見返し用紙11が貼着される。また、表紙部材1についても、実施例1と同様にして完成させる。

一方、帯状の背捲きテープ25については、図17に示すように、テープ本体の両面において、テープ本体の左右両縁に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙25bで保護された接着面25aをそれぞれ有し（図17においては表裏両面をそれぞれ別個に示している）、その長さについては、貼着される本文セット2の喉部における長さ方向の寸法と同じにする。 20

【0050】

次に、背捲きテープ25の片面側に貼着された一对の剥離紙25bを剥がして接着面25aをそれぞれ露出させておき、喉部に一对の見返し用紙11が貼着された状態の本文セット2の喉部に対し、見返し用紙11の上から本文セット2の喉部を覆うようにして上記背捲きテープを貼着する。そして、本文セット2の喉部に貼着された面と反対側の面（背表紙側の面）に設けられた一对の剥離紙25bを剥がして、表紙部材1の内面側の所定位置になるように見返し用紙11が貼着された本文セット2を配置し、露出した接着面25aを表表紙用及び裏表紙用の表紙芯材5、6の内面側に貼着すると共に、実施例1と同様にして各表紙芯材5、6の内面側（見返し側）と各見返し用紙11との間を貼着し、製本を完成する。 30

【実施例4】

【0051】

図18は、実施例1の変形例である本文部材26を形成するため斜視説明図を示す。図18における綴じテープ27は、片面のみに実施例1における綴じテープ10と同様にその長さ方向に沿って略平行に貼着された一对の剥離紙27b,27cで保護された一对の接着面27aを有する。

【0052】

図18の(1)に示したように、まず、綴じテープ27における剥離紙27bを剥がして露出した接着面27aに印刷が終了した本文用プリント紙8の喉部を貼着する。一方、図18の(2)に示したように、上記本文用プリント紙8と共に本文部材26を形成する別の1枚の本文用プリント紙8については、その裏面（印刷がされていない面）の小口側、中央付近及び喉側の各部分に、片面の剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出した両面接着テープ9を貼着する。次に、図18の(3)に示したように、上記2枚の本文用プリント紙8の裏面が対向するようにして揃え、上記で一方の本文用プリント紙8の小口側部分に貼着した両面接着テープ9の残りの剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出させ、この接着面9aに小口側の部分を揃えて他方の本文用プリント紙8を貼着する。同じく一方の本文用プリント紙8の中央付近部分に貼着した両面接着テープ9の残りの剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出させ、他方の本文用プリント紙8を貼着しする。最後に、図18の(4)に示したように、一方の本文用プリント紙8の中央付近部分に貼着した両面接着テープ9の残りの剥離紙9bを剥がして接着面9aを露出させ、この接着面9aに喉側の部分を揃えて他方の本文用 40 50

プリント紙 8 を貼着して、本文部材 26 のひとつを形成する。

上記で形成した本文部材 26 については、実施例 1 と同様にして本文セット 2 を完成させると共に、その他については実施例 1 と同様にして、製本が完成する。

【産業上の利用可能性】

【0053】

本発明の活用例として、例えば市中の写真プリント等のように、片面に写真や本文等が記録される本文用プリント紙を開閉可能に綴じ合わせるのに好適であり、個々人が家庭で容易に、かつ、安価に製本することができる。

【図面の簡単な説明】

【0054】

【図 1】図 1 は、本発明の実施例 1 にかかる製本キットにより作製されるオリジナル本の一部分斜視説明図である。

【図 2】図 2 は、図 1 に示す製本キットの各部品を示す説明図である。

【図 3】図 3 は、ページ割付を決定するための台割シートの説明図である。

【図 4】図 4 は、プリンターで表紙用プリント紙 4 あるいは本文用プリント紙に所定事項を印刷する様子を示す斜視説明図である。

【図 5】図 5 は、本文部材の作製を説明するものであり、(1) ～ (4) は完成までの状態を示す斜視説明図である。

【図 6】図 6 は、本文セットを作成する状態を示す斜視説明図である。

【図 7】図 7 は、本文セットに角布を取り付ける状態を示す部分斜視説明図である。

【図 8】図 8 は、本文セットに見返し用紙を取り付ける状態を示す部分斜視説明図である。

【図 9】図 9 は、作製された表表紙用プリント紙、背表紙用プリント紙、及び裏表紙用プリント紙を示す説明図である。

【図 10】図 10 は、図 9 で得られた表表紙用プリント紙、背表紙用プリント紙、及び裏表紙用プリント紙の内面側に表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の表紙芯材を貼着した状態を示す説明図である。

【図 11】図 11 は、表表紙用、背表紙用、及び裏表紙用の表紙芯材の内面側に表表紙用プリント紙、背表紙用プリント紙、及び裏表紙用プリント紙の上縁部、下縁部、あるいは外側縁部を折り込んで貼着する状態を示す説明図である。

【図 12】図 12 は、完成した表紙部材に本文セットを取り付ける状態を示す説明図である。

【図 13】図 13 は、完成したオリジナル本を示す斜視説明図である。

【図 14】図 14 は、本発明の実施例 2 に係る本文部材を形成するための表表紙用表紙芯材を作成する状態を示す斜視説明図である。

【図 15】図 15 は、本発明の実施例 2 に係る本文部材の作製を説明するものであり、(1) ～ (3) は完成までの状態を示す斜視説明図である。

【図 16】図 16 は、本発明の実施例 3 に係るものであり、表紙芯材と本文セットの喉部との間に介装される背捲きテープの状態を示す断面説明図である。

【図 17】図 17 は、表紙芯材と本文セットとの間に介装される背捲きテープの説明図である。

【図 18】図 18 は、本発明の実施例 4 に係る本文部材の作製を説明する斜視説明図であり、(1) ～ (4) は完成までの様子を示す。

【符号の説明】

【0055】

1 … 表紙部材

2 … 本文セット

3 … 本文部材

4 … 表紙用プリント紙

4a … 表表紙用プリント紙

10

20

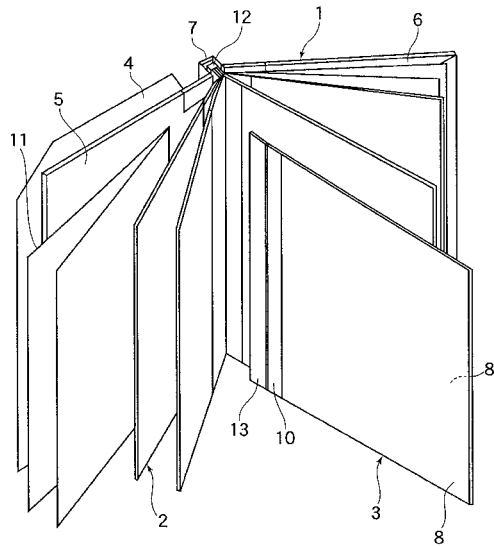
30

40

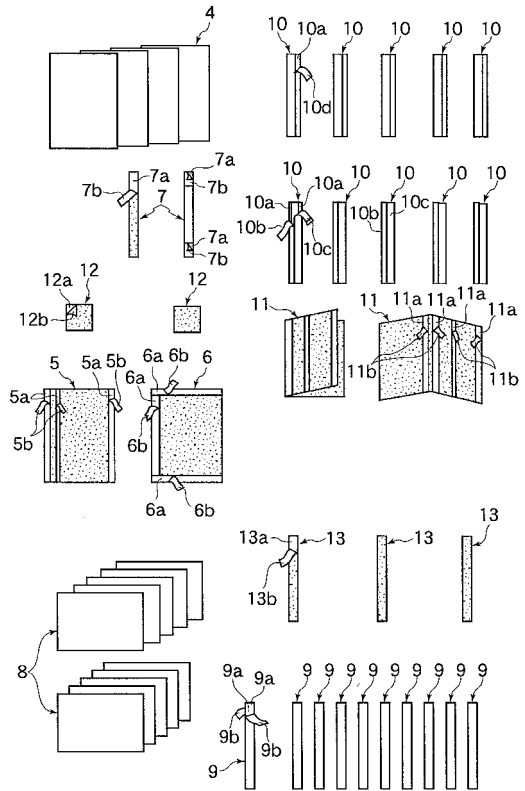
50

4b…裏表紙用プリント紙	
4c…背表紙用プリント紙	
5…表表紙用の表紙芯材	
6…裏表紙用の表紙芯材	
7…背表紙用の表紙芯材	
8…本文用プリント紙	
9…両面接着テープ	
10…綴じテープ	
11…見返し用紙	
12…角布	10
13…枕材	
14…台割シート	
15…プリンター	
5a,6a,7a,10a,11a,12a,13a…接着面	
5b,6b,7b,10b,10c,10d,11b,12b,13b…剥離紙	
16…表表紙用の表紙芯材	
16a…凹部	
17…窓枠材	
18…シート材	
19…収容材	20
20…裏表紙用の表紙芯材	
21…表紙用プリント紙	
21a…表表紙用プリント紙	
21c…背表紙用プリント紙	
22…両面接着テープ	
23…収納凹部	
24…写真	
25…背捲きテープ	
26…本文部材	
27…綴じテープ	30
17a,18a,22a,25a,27a…接着面	
17b,18b,22b,25b,27b,27c…剥離紙	

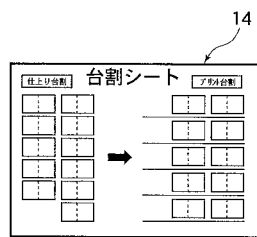
【図 1】



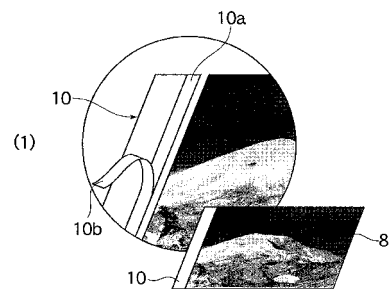
【図 2】



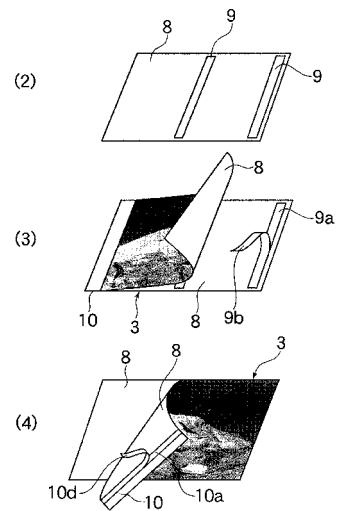
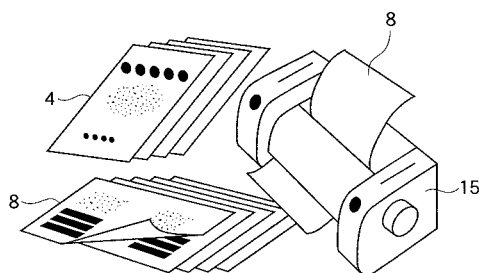
【図 3】



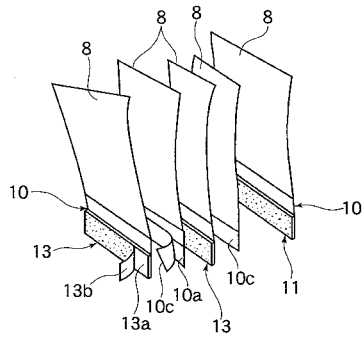
【図 5】



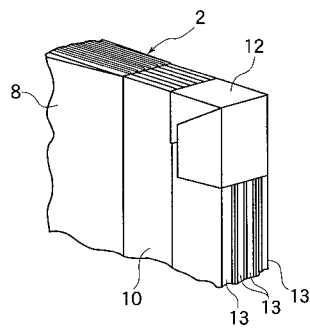
【図 4】



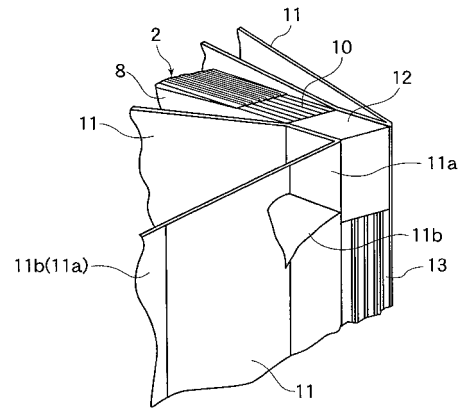
【図 6】



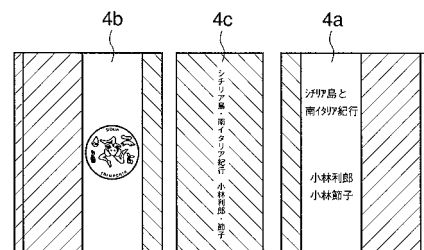
【図 7】



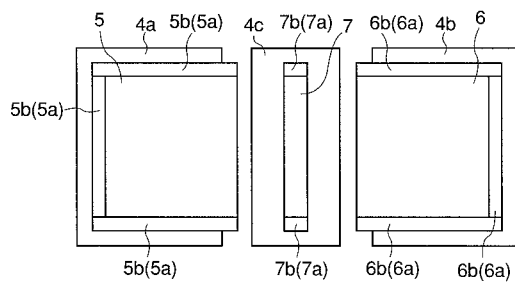
【図 8】



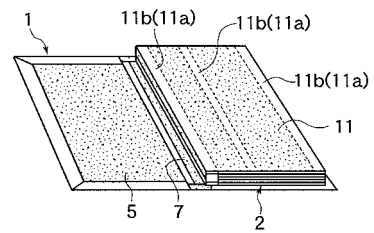
【図 9】



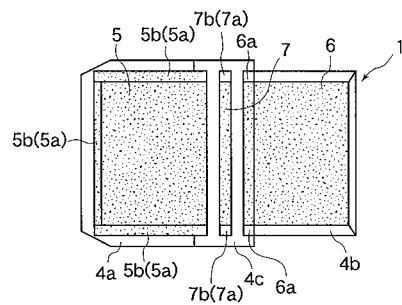
【図 10】



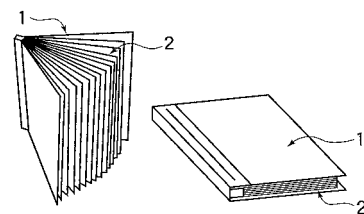
【図 12】



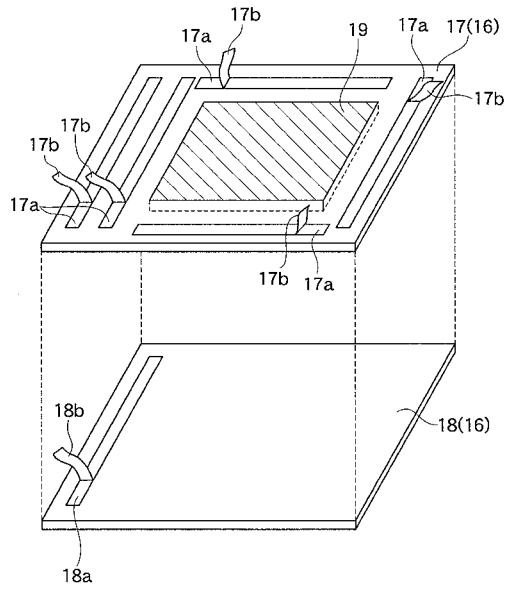
【図 11】



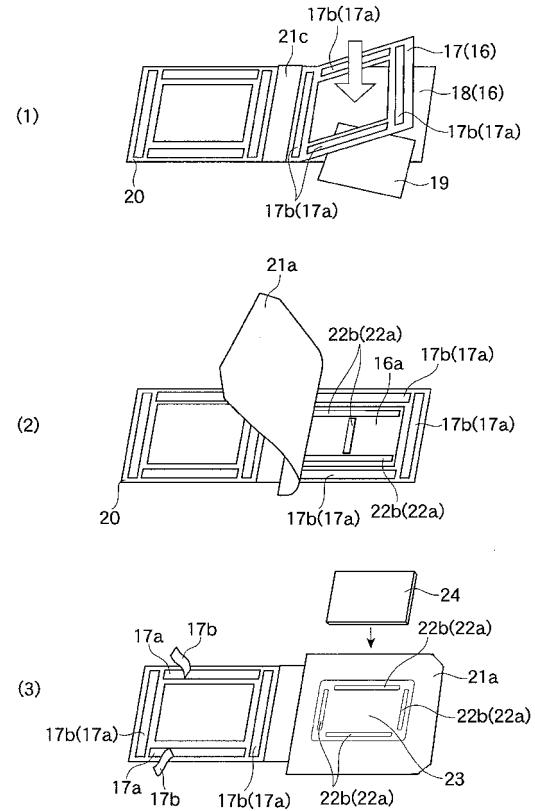
【図 13】



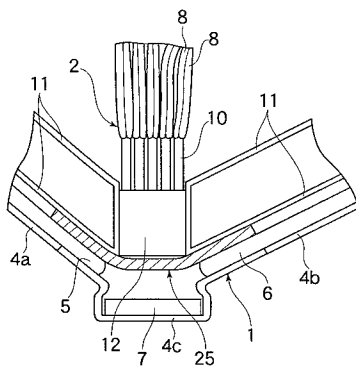
【図 1 4】



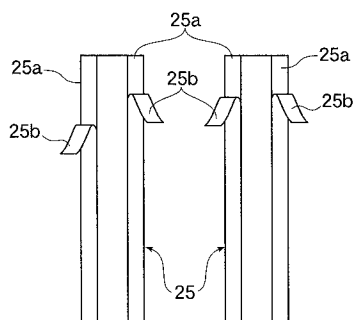
【図 1 5】



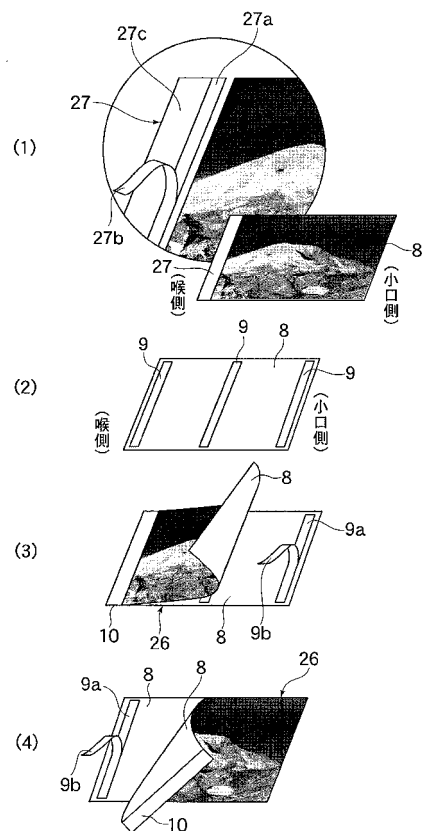
【図 1 6】



【図 1 7】



【図 1 8】



フロントページの続き

- (72)発明者 小林 浩
東京都台東区鳥越2丁目10番4号、株式会社小林内
- (72)発明者 小島 寿子
東京都台東区鳥越2丁目10番4号、株式会社小林内